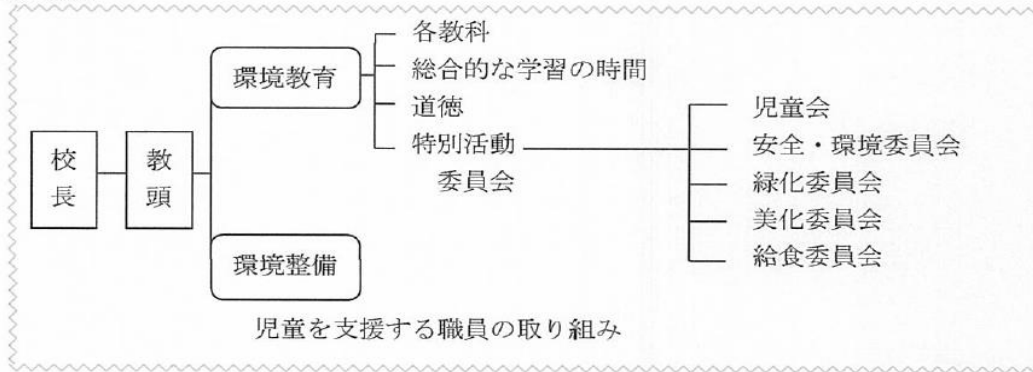


1 はじめに

本校は、都市部に位置しながらも「白山の森」として地域の人にも親しまれるほど立派に生長した樹木に囲まれている。校内の緑化活動が環境教育の中心に位置づけられ、全校での取組を継続している。児童は、校内の樹木や草花、虫や小動物とのふれあいやかかわりを通して、自然の生き物のつながりを学んでいる。また、教科や総合的な学習の時間における環境教育などを通して、地球規模での環境破壊が進んでいることも学んでいる。職員、児童一人一人が、環境を守るために自分にできることを考え行動している。

2 組織図



3 取組の実際

(1) 宣言

《児童の宣言》

**環境にやさしい白山小**

- 1 教室やトイレなどの、使わない電気の切り忘れ0を目指します。
- 2 水道の水の出しっぱなし0を目指します。昨年度より2%削減を目指します。
- 3 紙のリサイクルの昨年1365kgを越えます。
- 4 心の環境ISO。

(2) 行動

① 授業の取組

- 総合的な学習・・・環境工場や浄化センター（熊本の環境や水についての学習を行う。）水の科学館への見学（熊本の水資源を大切にしようとする心を育てる。）通潤橋見学（水と人々の暮らしを歴史から学び、現在に生かす。）など
- 道徳・・・心がやけ月間での道徳授業の取り組み、日曜参観を行い、家庭への呼びかけを行う。
- 教科・・・家庭科学習での洗剤フリー、水銀フリーの呼びかけ、油の処理方法など。学活での栄養教諭による栄養指導（食育）給食試食会での家庭への呼びかけを行う。（バランス良い食事、残さいゼロをめざして）

書写の時間の筆洗いは、ペットボトルを使ったり、絵具のパレットもティッシュで拭きとったりするなど、少ない水で後始末をする工夫をしている。

## ② 委員会での取組

### ○環境安全委員会

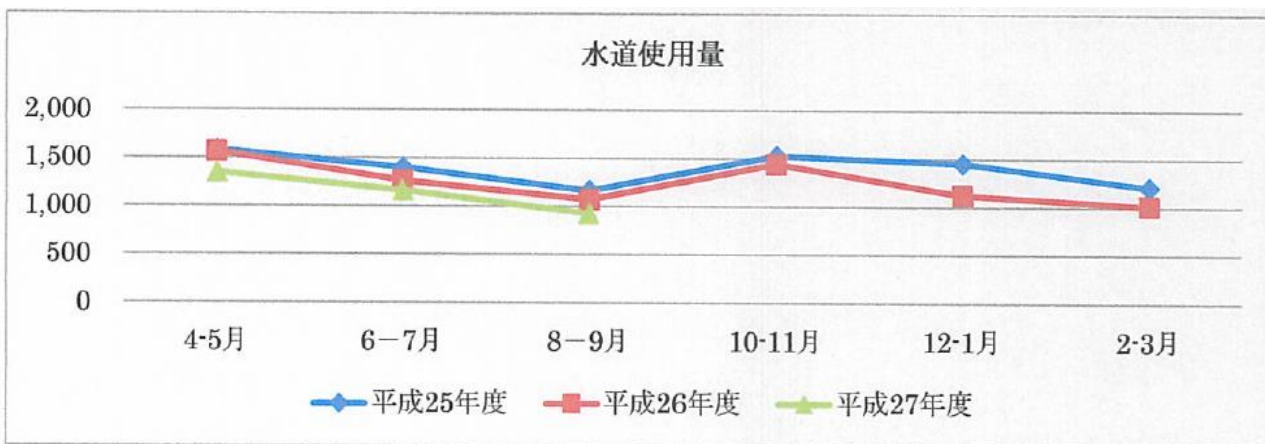
今年は、水の使用量が多くなる季節前に、ポスターを洗面所全部に掲示した。また、時々、放送をつかって節水を呼びかけた。



### (3) 記録

水道使用量(25年度～27年度)

	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月	年間合計
平成25年度	1,584	1,400	1,163	1,531	1,452	1,210	8,340
平成26年度	1,567	1,263	1,072	1,444	1,124	1,015	7,485
平成27年度	1,348	1,162	927				



### (4) 見直し(成果と課題)

水の使用量は少しずつ減っている。取り組みはまだまだだったが、一人一人の水に関する気持ちが節水に向いてきているように思う。先生方の日々の声掛けの効果も大きい。紙のリサイクルも委員会を中心に昨年よりも意識が向上しているので、目標の重さを越えることができそうだ。今後は、もっとひとりひとりが、リサイクルの大切さがわかるようなDVD、本、話だどを利用しながら取り組んでいきたい。